

バイオマス素材使用の手袋を投入

宇都宮製作

手袋をはじめとした衛生関連製品を展開する宇都宮製作は、2030年までに同社製品（ナショナルブランド）を全て環境配慮製品にするという目標を掲げている。今回、環境配慮製品として上市した「クインプラスバイオマス手袋（ビニール）」で、社内の環境に関する目標の達成と、ユーザーの環境に対する意識啓発を図る。

同社は9月1日、「クインプラスバイオマス手袋（ビニール）」を発売した。植物由来のバイオマス原料を25%配合した使いきりタイプの手袋で、従来の使いきりビニール手袋と比べて、化石資源の使用量を削減している。サイズはS/M/Lの3サイズ、カラー

は半透明の1色で展開する。

「近年、販売代理店であるドラッグストアなどの、一般消費者をユーザーとして持つ企業のSDGsへの取り組みに対する意識が高まっており、実際に当社への要望もある。そうしたニーズに対応できるようにすることはもちろん、当社としても、2030年までに当社製品を全て環境配慮製品にするという企業目標の達成に向けた製品をラインアップに組みこむ必要があると考えた」（宇都宮製作）

パッケージには特許出願中の「スリムパッケージ」を採用。細長くコンパクトな形状で、従来品のパッケージ1個分のスペースが、スリムパッケージ2個分に相当するなど、容量は従来品と同じながらもコンパクトな収納を可

能にした。キッチンという限られた収納スペースを有効活用できることに加え、従来の形状と比べ紙の使用量を約半分に削減。また、吊り下げにすることでシュリンクをなくしプラごみを削減するなど、環境への配慮と利便性を両立したパッケージとなっている。発売前には展示会で先行公開を行った。ビニール手袋業界では数少ないバイオマス素材使用の手袋として関心を集めたほか、店舗を運営するバイヤーからはパッケージに注目が集まった。

「店舗の棚に陳列する際、従来品の2倍の量の製品を陳列することができた点で注目度が高かった」（同）

デザイン面ではバイオマスを意識したナチュラルな色遣いとイラストを採用。従来、手袋のパッケージには原色が使用され、製品の写真と共に用途が大きく書かれているデザインが主流だった。「クインプラスバイオマス手



「クインプラスバイオマス手袋（ビニール）」

袋（ビニール）」では、バイオマスを意識しつつ、インテリアにもなじむようなデザインに仕上げている。

「X（旧ツイッター）で実施したプレゼントキャンペーンでは、実際に製品を手にとった当選者から『パッケージが可愛い』『おしゃれ』といった肯定的な意見も頂いた」（同）

同社は、環境に配慮した製品を継続して出していくことで、少しずつユーザーの環境配慮製品への理解を得ると共に、意識向上の一助になればよいと考えている。



人と環境の未来をまもる

ウツノミヤ宣言

私たちは考えました。
社会のために、持続可能な何ができるのだろうか？
次の世代、未来を生きる子どもたちのために、
できることって何だろうか？

詳しくは



Since 1903 『まもる』を創る！
宇都宮製作株式会社
Utsunomiya Seisaku Co., Ltd.

<https://www.u-seisaku.co.jp/>